

# 目指すは安心して暮らせる地域

皆さんの安全な暮らしを守るため、町が進めている岡垣町地域情報伝達無線システム「でんたつくん」の整備。戸別受信機の無償貸与が始まる前に、内容を詳しく紹介します。

問い合わせ 地域づくり課へ

## 災害はいつ起こるか わからない

近年、異常気象で局地的豪雨や土砂災害などが多発しています。熊本地震災害のような大きな災害も発生するなど、いつどこでどのような災害が起きてもおかしくない状況です。

町では、平成21年度に緊急防災無線屋外拡声スピーカーを整備し、災害時などに緊急放送を行っています。しかし、内容が聞き取りにくいことや、屋内の人に伝えるための手段が少ないことなどが課題となっていました。また、以前から各世帯に設置している有線放送設備の老朽化も問題と

なっていて、これらを解決する仕組みが望まれていました。

## 戸別受信機を 全戸に無償貸与します

町に住む皆さんや病院、福祉施設などに、確実に情報が伝わるよう戸別受信機を無償貸与します。戸別受信機を置くことで、国や町からの情報を迅速かつ正確に、屋内まで伝えることができます。また、自治区・校区単位での情報発信ができるため、これまで使用していた有線放送設備の代わりとしても活用できます。

さらに、放送内容の録音機能があるため、万が一放送を聞き逃しても、あとから内容を確認することができます。



## ■「でんたつくん」のイメージと戸別受信機の機能



### 役場（無線・電話回線）

#### ■緊急一斉放送

- 地震、津波、風水害、台風、テロ災害などの避難情報
- 芦屋基地に関する災害情報

#### ■通常時一斉放送

- 町行事の案内、延期・中止連絡など



### 区長など（電話回線）

#### ■自治区・校区放送

- 災害時の地域に応じた細やかな放送
- 自治区、校区の情報（清掃活動、廃品回収など）
- 行事の案内、延期・中止連絡など

## 各世帯の戸別受信機へ



#### ■戸別受信機の機能

- 緊急一斉放送の受信
- 通常時一斉放送の受信
- 自治区・校区放送の受信
- 放送内容の録音・再生
- ※一定の録音件数を超えると古いものから消えていきます

## 通常時も災害時も活躍するでしょう

今回整備される「でんたつくん」は、国や町からの情報をすぐに入手できること、地域ごとに自治区・校区放送ができることが最大の魅力だと感じます。

現在は、町から情報伝達の依頼があると、有線放送を流すために、わざわざ公民館に行かなければなりません。また、外出時などは区民に情報を

伝えるのが遅くなることもあります。しかし、今後は町からの依頼が減るなど負担が軽くなります。さらに、自治区・校区放送などを、外出先から電話一本で流せるようになります。

戸別受信機の全戸設置で、各自治区の状況に応じたきめ細やかな情報伝達が可能になるのではないかと期待しています。

旭南区長 橋村魁さん



# ここで解決！ 戸別受信機のギモン

戸別受信機は、病院や福祉施設、そして皆さんの家庭に必ずやっ  
て来ます。取り付け作業や設置後の管理、転出したときの対応など、  
皆さんが抱えるさまざまな疑問に答えます。



## Q. 戸別受信機の貸与は 1戸に1台？

A 世帯主に1台を無償貸与します。2世帯が同じ棟に住んでいるときは1台、母屋と離れなどで世帯を分けているときは原則1台ずつ貸与します。

## Q. 取り付け作業や 設置費用は？

A 取り付け作業は、主に町内の電気事業者などが各家庭を訪問して行います。事業者は町が発行する証明書を持っていきます。また、設置工事にかかる個人負担はありません。

## Q. どこに設置する？

A 住んでいる人がよくいる部屋のコンセント周辺で、緊急時の持ち出しや日ごろのボタン操作が簡単にでき、電波の受信状況がいい場所に設置します。設置するときに、事業者が電波の状況を確認し、悪いときは外部にアンテナを設置することがあります。アンテナは町が無償貸与します。

## Q. コンセントが近くに ないときは？

A コンセントが近くにな  
いときやすべて使用している  
ときは、電源タップや延長

コードなどを購入していただく  
ます。設置業者から購  
入することもでき  
ますので、業  
者に問い合わせ  
てください。



## Q. 電池などは不要？

A 戸別受信機は、コンセ  
ントが使えない非常時はア  
ルカリ電池2個で作動する  
ようになっていきます。町か  
ら貸与するときは電池を入  
れています。それが降の  
交換は実費で行っていただ  
きます。電  
池交換の目安  
は、使用状況  
にもよります  
が、おむね  
年1回です。



## Q. 自治区・校区放送は 誰でもできる？

A 自治区・校区放送は、  
指定された番号に電話する  
と流れる仕組みになってい  
ます。この番号を知ってい  
る自治区長と校区コミュニ  
ティ会長のみ放送できます。

これまでの有線放送では  
自治区によって、自治区長  
以外が直接放送することも  
ありました。このような地  
域の実情に応じた使い方は、  
町に届け出をすること

できるようになります。

## Q. いつから運用する？

A 戸別受信機を設置した  
地域から順次開始します。  
一番早い地域で、テスト運  
用は平成30年1月から、本  
格運用は平成30年4月から  
を予定しています。

## Q. 転出・町内転居を したときは？

A 戸別受信機は、町に住  
民登録をしている世帯主に  
貸与します。世帯全員が町  
外に転出するときは返却し  
てください。また、戸別受  
信機は、決められた自治区・  
校区の放送が受信できるよ  
うに設定されています。その  
ため、自治区が変わる町内  
転居のときは返却してくだ  
さい。転居先の自治区・校  
区放送を聞くことができます  
戸別受信機を、新たに無償  
貸与します。

## Q. 戸別受信機が故障や 破損したときは？

A 初期不良や落雷などの  
自然災害で壊れたときは、  
町が無償で修理や交換をし  
ます。ただし、故意に破損  
させたときなどは、修理代  
の請求や新規購入をお願い  
することがあります。丁寧  
に取り扱ってください。



梅雨時期を  
迎える前に

## もしものときに備えて 事前に確認してください

これから梅雨時期を迎え、土砂災  
害や河川の増水、道路の浸水被害  
などが発生しやすくなります。いつ起  
こるかわからない地震とは違い、大  
雨による土砂災害や河川の増水は、  
雨の降り方に注意することで、被害  
を未然に防ぐことができます。

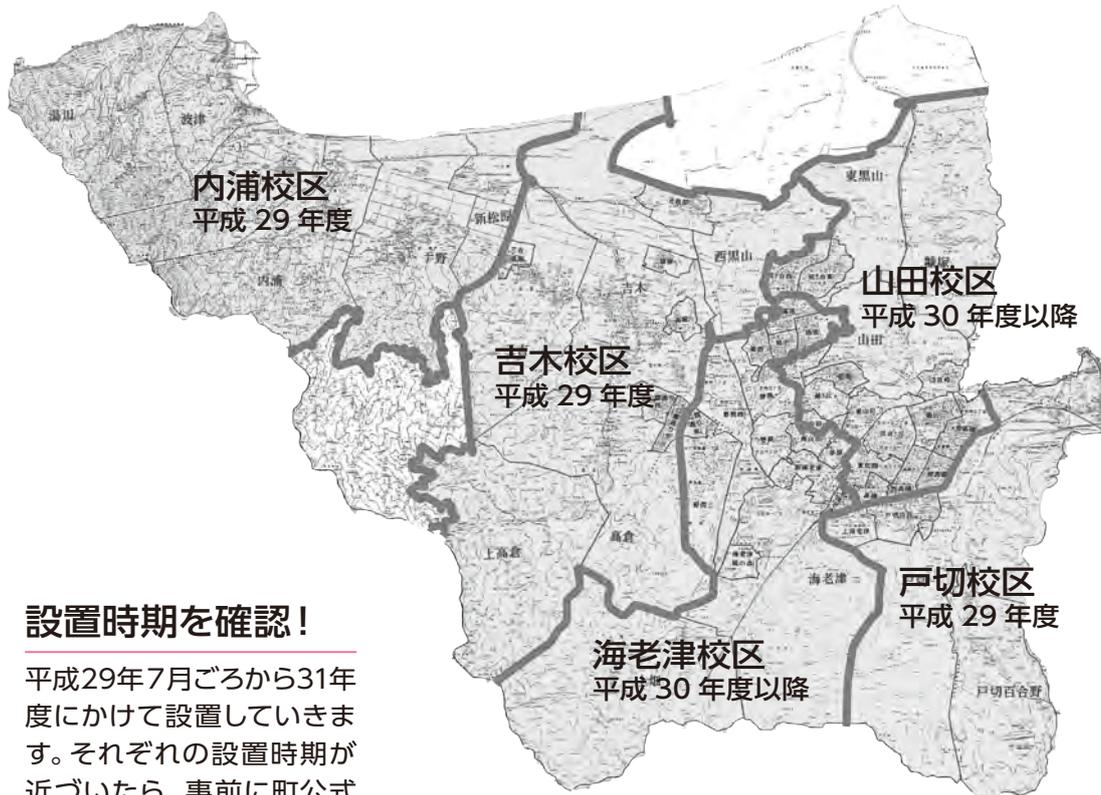
「自分の安全は自分で守る」と

いう気持ちで、日ごろから避難方  
法や避難場所などを確認しておき  
ましょう。

## 津波浸水想定・遠賀川浸水想定 が新しく公表されました

今回の公表に伴い、防災マップ  
の内容を一部修正したものを広報  
おかがき5月25日号に折り込んで  
います。すでに配っている防災マ  
ップの巻末袋に入れてください。

## ■戸別受信機の設置計画図



町内全戸に順次  
設置していきます

### 設置時期を確認!

平成29年7月ごろから31年度にかけて設置していきます。それぞれの設置時期が近づいたら、事前に町公式ホームページや組回覧などでお知らせします。

※有線放送設備の無い自治区は平成 29 年度に設置します  
※設置時期は大きく前後することがあります



いよいよ「でんたつくん」の整備が始まります。この整備には、芦屋基地に係る国の補助金を活用しています。運用開始後は、迅速かつ確実に災害情報を伝達できるとともに、地域情報の発信で地域コミュニティの充実が期待されます。そのため、町では戸別受信機を全戸に必ず設置するよう条例で決めました。

災害が発生すると、被害をゼロに

岡垣町長 宮内實生

することは困難です。しかし、あらかじめ状況に応じた準備や対策をすることで、被害を最小限にすることができます。

これから、各家庭や病院、福祉施設などへの戸別受信機の設置を進めていきますので、皆さんの協力をお願いします。「でんたつくん」が多くの皆さんに親しまれ、愛着をもっていただけることを願っています。

平成28年熊本地震災害発生時、皆さんから寄せられた物資と町の備蓄品を被災地に届けました。その際、無償で支援活動に協力してくれた企業などに感謝状を贈りました。

**明和運輸(有)** 従業員一丸となって、支援物資を4トントラック2台に積み、熊本市内に搬送してくれました。

**(株)つじ** 支援物資搬送車両に掲げる横断幕を2枚作成してくれました。

**井上勝弘さん** 町の水害時に役立ててほしいと、自身が持つゴムボートを寄付してくれました。

被災地などを  
支える行動に感謝



▲(株)つじ・辻一昭さん、宮内町長、井上勝弘さん、明和運輸(有)・小早川敬義さん